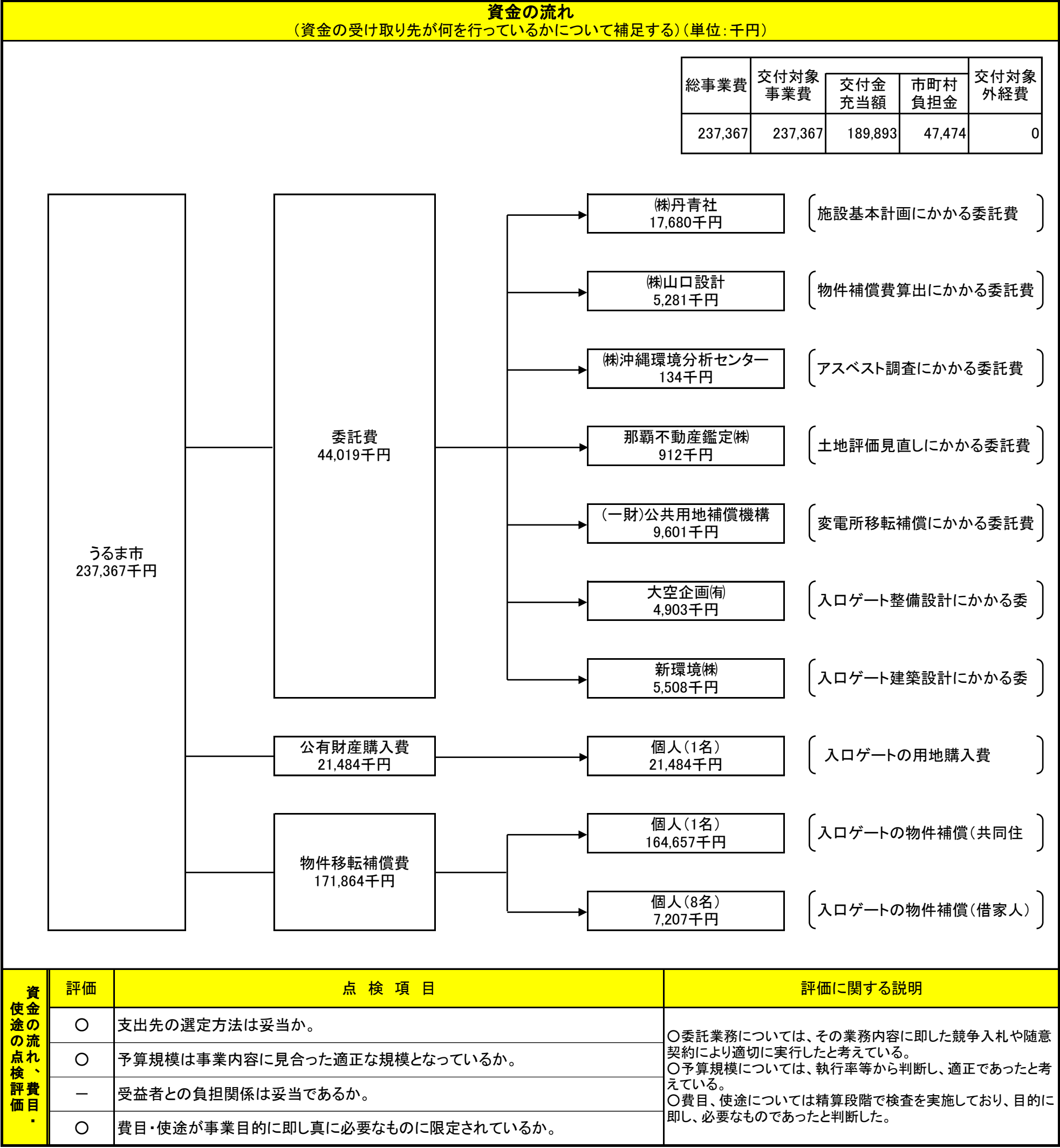


市町村名	うるま市						
平成 2 8 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－（2）－ウ	
担当部課名	都市建設部 勝連城跡周辺整備室	事業実施（予定）年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入れ体制の整備	
事業内容	世界遺産として登録されている勝連城跡の周辺に体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点施設を整備し、観光客の誘客を図る。						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（34年度）						
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	28年度（繰越）
	予算の状況	(a) 当初予算額	8,021	24,948	51,151	16,848	0
		(b) 予算現額	8,190	15,336	44,942	239,405	0
		(c) 増減額（b-a）	169	▲ 9,612	▲ 6,209	222,557	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	59,165
		A. 計（b+d）	8,190	15,336	44,942	239,405	59,165
	B. 執行済額		8,190	15,239	44,942	180,240	57,127
	うち交付金充当額		6,552	12,191	35,953	144,192	45,701
	次年度繰越額		0	0	0	59,165	0
	執行率（％）（B/A）		100.0%	99.4%	100.0%	75.3%	96.6%
予算の状況の説明		当初予算は委託費のみであり、その後、補償費と公有財産購入費を増額した。補償費は共同住宅であり、借家人の移転に時間を要したことから、建物の取壊しが遅れ補償費を繰越し、土地引渡しが出来ないことから公有財産購入費も繰越しとなった。					
活動目標（指標）及び達成状況	H28活動目標（指標）		達成状況				
				28年度	29年度	30年度	31年度
	勝連城跡周辺文化観光施設基本計画の検討	目 標	（ 基本計画の検討の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	基本計画の検討の完了				
	物件補償調査業務	目 標	（ 物件移転調査の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	物件移転調査完了				
	変電所移転調査等業務	目 標	（ 移転調査の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	移転調査の完了				
	入口ゲート実施設計業務	目 標	（ 実施設計の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	実施設計の完了				
	用地取得	目 標	（ 用地取得の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	用地取得の完了				
	物件の除却	目 標	（ 物件の除却の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	物件の除却の完了				
	達成状況説明	平成28年度に基本計画策定、物件補償調査、変電所移転調査、入口ゲート実施設計を完了した。用地及び物件除却については、平成29年度に完了した。					

H28成果目標(指標)			基準値 (年度)	28年度	29年度	30年度	目標値 (34年度)
成果目標 (指標) 及び進捗状況	勝連城跡周辺文化観光施設基本計画の策定	目 標	()	(基本設計 策定)	()	()	()
		実 績		基本設計策定			
	物件補償調査業務の完了	目 標	()	(調査業務 の完了)	()	()	()
		実 績		調査業務の完了			
	変電所移転調査等業務の完了	目 標	()	(調査業務 の完了)	()	()	()
		実 績		調査業務の完了			
	入口ゲート実施設計業務の完了	目 標	()	(実施設計 書の完了)	()	()	()
		実 績		実施設計書の完了			
	用地の取得 711.4㎡	目 標	()	(711.4㎡)	()	()	()
		実 績		711.4㎡			
	物件の除却 1件	目 標	()	(1件)	()	()	()
		実 績		1件			
	【H34成果目標】 年間入場者数300千人	目 標					300千人
	進 捗 状 況 説 明	勝連城跡周辺文化観光施設基本計画の成果は、次年度実施する基本設計策定の基礎資料とする。 物件移転補償調査により次年度に補償する物件移転補償費の算定根拠とする。 変電所移転調査により、公共補償費の算定に必要な資料とする。 入口ゲート実施設計により平成30年度に行う工事設計書図書とする。 用地取得及び物件除却は、平成30年度に行う箇所の用地取得及び物件除却の契約を進め平成29年度に完了した。					

取組 の 検 証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	共同住宅の補償において、単身高齢者世帯の借家人が次の移転先で入居できる賃貸住宅が見つからず、移転先に時間を要したことから建物除却及び土地引渡しが年度内に完了できず、繰越しとなった。	借家人の移転先選定に時間を要することが想定される場合には、補償契約締結前から事前交渉を行い、契約締結後、早期に移転できるように交渉を進めておく必要がある。
今後の取り組み方針		
次年度以降に取得する用地について、地権者(相続人等)調査を早期に進め、地権者へ今後の用地取得入及び物件補償についてのスケジュール等の説明を事前に 行い、円滑な用地取得ができるように取り組む。		



市町村名		うるま市						
平成２８年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7-④		農水産業振興戦略構築及び拠点施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－（7）－イ		
						流通・販売・加工対策の強化		
担当部課名	経済部 農政課		事業実施 （予定）年度	平成24～29年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－（6）	
事業内容	当市は第1次産業が盛んな地域である。地域特性を発揮し、農水産業の6次産業化を推進するため、マーケットや複合施設の運営等に精通している民間事業者等と連携し、農水産業の戦略的展開を構築するとともに、豊かな農水産物の加工・流通施設、直売所及びレストラン等を併せ持つ複合施設を整備する。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（30年度）							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			26年度	26年度（繰越）	27年度	28年度	28年度（繰越）	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	175,988	0	156,334	779,614	0	
		(b) 予算現額	173,162	0	77,376	779,614	0	
		(c) 増減額（b-a）	▲ 2,826	0	▲ 78,958	0	0	
		(d) 繰越額	－	95,908	－	－	465,968	
		A. 計（b+d）	173,162	95,908	77,376	779,614	465,968	
	B. 執行済額		77,254	82,089	73,617	313,646	432,064	
	うち交付金充当額		61,803	65,671	58,893	250,917	345,651	
	次年度繰越額		95,908	－	－	465,968	0	
	執行率（％）（B/A）		44.6%	85.6%	95.1%	40.2%	92.7%	
予算の状況の説明		指定管理者と協議した結果、菓子類の加工製造機能を追加するなど、設計変更に不測の日数を要し工事発注が遅れたため年度内完了が出来ず平成26年度に465,968千円を繰越した。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	H28活動目標（指標）			達成状況				
				28年度	29年度	30年度	31年度	
	建築1期工事・外構1期工事着手	目 標	（ 建築1期工事 外構1期工事 の着手 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	建築1期工事 外構1期工事 の着手					
達成 状 況 説 明	建築1期工事は、平成29年2月8日に仮契約し同年3月7日付け市議会の議決を得て着手することができた。 外構1期工事は、平成28年10月13日に契約し着手することができた。							
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H28成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	28年度	29年度	30年度	目標値 （30年度）
	建築1期工事・外構1期工事の完了	目 標	（ ）	（ 建築1期工 事外構1期 工事の完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		建築1期工事 外構1期工事 の完了				
	【H30成果目標】 供用開始後1年目（平成30年度）の目標を 以下のとおりとする。 ・出荷生産者全体の収入額：166百万円			目 標				166百万円
	進 捗 状 況 説 明	建築1期工事は、平成30年3月7日に完了することができた。 外構1期工事は、平成29年3月22日に完了することができた。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	当該事業目的の実現化に向けては、類似施設で運営実績ある指定管理者のノウハウを活用する必要があり、建築1期工事については、施設整備内容等に係る指定管理者との協議・調整を踏まえた設計変更に相当期間を要し工事着手が遅れたため、平成29年度へ繰越し完了となった。	地元生産物の消費拡大等により第一次産業の活性化を図るため、当該施設への来店動機と購買意欲への訴求・滞留性を高めるための施設整備や運営面について、指定管理者と綿密な協議・調整を行いながら、平成30年10月末の供用開始に向けた事業推進の効率化を図る。
今後の取り組み方針		
建築第2期工事発注に向けて、指定管理者と協議した結果、当初の厨房レイアウト及び機器類に変更が生じたため着手が遅れ、また建築第2期工事の進捗状況の遅れに影響して外構第2期工事及び備品購入の着手も遅れたため年度内完了が出来ず、平成30年度へ繰越すことになった。 当事業は平成30年8月末に完了、同年10月末の施設供用開始を予定しており、供用開始後は年間集客者数69万人を目指し施設運営に取り組む。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>745,710</td><td>745,710</td><td>596,568</td><td>149,142</td><td>0</td></tr></table> うるま市 745,710千円 報酬 1,750千円 （嘱託職員及び委員にかかる報酬） 委託料 18,827千円 （有）新技術開発 10,837千円 （磁気探査業務（その1）） 久友設計（株）・（株）うるま設備設計 委託業務共同企業体 7,990千円 （工事監理業務（その1）） 工事請負費 725,133千円 ナカンヌ興業株式会社 35,661千円 （外構1期工事） 琉幸建設（株）・（株）幸石建設建設共同企業体 509,976千円 （建築1期工事） （有）大川工業・（有）大嶺設備建設共同企業体 85,331千円 （機械1期工事） （有）翁長電気工事・（有）仲電工建設工事共同企業体 94,165千円 （電気1期工事）					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	745,710	745,710	596,568	149,142	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
745,710	745,710	596,568	149,142	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札により選定しており妥当である。 ○効率性とコスト縮減を踏まえ、公共工事積算基準に基づく適正な予算規模である。 ○施設設置目的の実現化に必要な費目・使途であり、事業目的に限定した執行を行っている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												